

【総領事館からのお知らせ:安全対策情報:9月】

平成23年9月13日(総11第24号)  
在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

- (1) 去る1月にパキスタンで拘束されたウマル・パティック容疑者(ジュマ・イスラミーヤ(JI)メンバー)がインドネシアに送還された。同容疑者は2002年のバリ爆弾事件への関与が指摘されており、今後インドネシア国内で裁判が行われる。
- (2) 8月10日及び19日の2日間、バリ州庁舎前でインドネシア環境フォーラム(Walhi)などの環境NGOが2013年開催のAPECに向けて企画されているバリ・インターナショナル・パーク建設に反対するデモを行った。
- (3) 8月24日深夜、強盗団がバドゥン県ウンガサン地区に居住している英国人を縛り、盗みを図った。

2 一般情勢

- (1) バリ州では、2008年11月に狂犬病ウィルスが確認されて以降、死亡者(疑いも含む)が、2009年に28人、2010年に82人であったが、2011年は8月末現在で18人である。
- (2) 8月4日、2013年インドネシアAPEC準備事務局担当者がバリ州を訪れ、州知事ら関係者とAPEC開催に必要なインフラ整備等について協議した。
- (3) バリ州環境当局によれば、バリ州内の13の海岸では、海岸沿いのホテル、レストラン、缶詰工場、ガラス工房、衣料工場の4割は排水処理せず水質汚染を引き起こしている。
- (4) 8月30日のレバラン(断食明け大祭)休日を控え、ジャワ島へのフェリー乗り場では帰省客が約10時間待つほどの混雑になった。

3 邦人事故・事件関連

- (1) 8月8日、ウブド地区の日本人宅に盗みが入った。
- (2) 観光地のタナロットにて、スリ被害が2件発生した。

4 その他

- (1) バイクに乗った2人組が走行中のマイクロバスのフロントガラスにこぶし大の石を投げつける事件が発生した。昨今、バリ島南部では渋滞の激しさに伴い危険運転も増し道路事情が悪化していることから、車の運転には十分注意を要する。
- (2) 緊急事態に備えて総領事館からバリ島各所に貸与している無線機について、現在の問題点を確認しながら今後バリ日本人会等と協議していく。
- (3) バリ州災害対策当局は、津波対策のためにクタ地区、サヌール地区、タンジュン・ベノア地区の3カ所について避難経路等を印したハザード・マップを作成している。

以上